

<報道関係者各位>

テレホンカードの換金率が上昇中。中国切手も需要増 家庭に眠るテレホンカードで国際貢献を

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(理事長:関口和孝)では、日本および、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダの5カ国で、飢餓をなくすための活動をしています。

ハンガー・フリー・ワールドでは、家庭に眠る不用品を換金することで、活動資金にあてています。

テレホンカードは企業利用が増大

携帯電話の普及によって、公衆電話の利用が減り、それに伴ってテレホンカードの使用場面が激減しました。過去に発行されたテレホンカードの多くが家庭に眠っていると思われます※。

このテレホンカードは500円、1000円の額面のカードであれば、1枚につき50円の手数料を支払えば、NTTの通話料金にあてることができます。事前に申請が必要など、個人の家庭での利用は手続きが煩雑ですが、最近、企業が経費削減につながるとして、活用する機会が増えています。その結果、金券ショップでの需要が高まり、換金率も上昇しています。

※NTT 東日本と西日本の未使用テレホンカード引当金計約165億相当(2017年度決算より)



ハンガー・フリー・ワールドは、家庭に眠る未使用テレホンカードを収集し、飢餓をなくす活動にあてています。50度数のテレホンカード1枚でウガンダでは、果樹の苗2本を提供することができます。住民たちが苗木を育て、実った果実は栄養を補い、販売すれば収入創出につながり、茂った木は地域の緑化に役立っています。



その他、中国経済の急成長により、中国切手も高値で取引



中国富裕層がコレクションや投資を目的に、中国切手を買集める動きが活発になっています。なかでも文化大革命当時発行された切手は、切手収集が禁止されていた時期であり、出回っているものは旅行者が国外へお土産に持ち帰った少数のものしかないため、希少性があります。特に日本人は多くの中国切手を保有しており、高値で取引されています。状態の良いものであれば、1枚で数十万の値段がつくものもあります。

ハンガー・フリー・ワールドは、テレホンカードと同様、中国切手を未使用、使用済みに関わらず集めて換金し、飢餓をなくす活動資金として活用

しています。

家庭に眠る不要品で、誰でも気軽に国際貢献ができます。貴紙にてご紹介いただき、大勢の方のご協力をいただければ幸いです。

送り先 : 〒102-0072 千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル8階
ハンガー・フリー・ワールド テレカ・切手係
問い合わせ先 : 電話 03-3261-4700

本件に関するお問い合わせ先 特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド

広報担当 糟谷(かすたに)知子 TEL 03-3261-4700(月~金 10:00~18:30) FAX 03-3261-4701

E-MAIL pr@hungerfree.net URL http://www.hungerfree.net/ 〒102-0072 千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル8階

団体概要

ハンガー・フリー・ワールドについて

1984年アメリカに本部を持つNGOの日本支部として活動を開始。2000年に日本に本部を置く国際NGOとして独立し、特定非営利活動法人の認証を取得。日本、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダで活動。「飢餓のない世界」を創るため、海外では住民主体の地域開発、国内外では、アドボカシー、啓発活動、青少年育成に取り組む。

所在地

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル8階

TEL 03-3261-4700 FAX03-3261-4701

E-MAIL info@hungerfree.net

平日:10:00-21:00 土:10:00-18:00

運営

設立	1984年4月
理事長	関口和孝
事務局長	渡邊清孝
会員数	534名(2017年12月末現在)
寄付者数	2039名(2017年12月末現在)
正会員数	45名(2017年12月末現在)
役員数	9名(理事7名／監事2名)
事務局員数	24名(有給専従職員14名／契約職員3名／アルバイト4名／インターン3名)
ボランティア数	315名(2017年12月末現在)
財政	総支出 328,456,622円(2017年度決算)



識字率の低いベナンで、青少年と成人対象の識字教育を実施。住民たちの生活向上につながっています(ベナン)



栄養改善事業では、栄養知識や、料理づくりについて教えています。子どもたちの栄養不良が改善しています(ウガンダ)



栄養不良の5歳未満児に栄養粥を提供。母親にも栄養について教え、家庭で実践できるようにしています(ブルキナファソ)



農薬や化学肥料を使わない持続可能な農業を推進。有機たい肥で作物が順調に生育しています(バングラデシュ)



国内では、講演やイベントなどで現地 の状況を伝え、飢餓をなくすために行動するよう呼び掛けています(日本)



海外活動国では、「食料への権利」法制化に向け提言活動を実施。日本でも TICAD などの国際会議で提言活動を行っています。(5カ国)